

## コロナ禍における「調理実習」を含む学習活動を安全に行うための工夫



「学校の新しい生活様式」において、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」の中でも、特にリスクの高いものとして、家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」が挙げられています。

本資料では、レベル1地域において、感染症対策を行った上で「調理実習」の実施を検討した場合を設定し、学習活動の例を示しています。コロナ禍においても、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、安心・安全に留意しながら、よりよい生活を創造する児童生徒の育成を目指していきましょう。

### 環境を整えよう



レベル1地域では、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」については、**換気**、**身体的距離の確保**や**手洗い**などの感染症対策を行った上で、実施することを検討します。その際には、レベル2地域における留意事項も、可能な範囲で参照します。

#### 【レベル2地域における留意事項】

- できるだけ個人の教材教具を使用し、児童生徒同士の貸し借りはしないこと。
- 器具や用具を共同で使用する場合は、使用前後の適切な消毒や手洗いを行わせること。

#### 【検討する事項の例】

##### 換 気



- 換気扇を運転させる。
- 調理室の窓を開ける。  
※網戸が無くて虫が入り衛生的でなかったり、風でガスが立ち消えしたりする危険があるため、状況を確認する。

##### 身体的距離の確保



- 自校の調理台で、児童生徒同士の間隔を1～2m以上確保しようとする、何人の児童生徒が調理室に入れるかを確認する。

- 示範、材料や道具の受け渡し、試食時等、三密を避ける工夫が必要な場面を確認する。
- 児童生徒の動線を考えて、安全な方法を検討する。

##### 手洗い等



- 調理実習時の児童生徒の服装や手洗い等、衛生・安全面に配慮する。



# 題材名:おいしく作ろう 伝統的な日常食 ごはんとみそ汁

(小学校第5学年 内容B「衣食住の生活」(1)食事の役割, (2)調理の基礎 を想定)



## 学習過程

## 学習活動

感染拡大防止に向けた対策



生活の  
課題発見

- 既習の知識及び技能や生活経験を基に生活を見つめ、生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する。

食事の役割と日常の食事の大切さについて理解するとともに、米飯及びみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることを理解する。

家庭で調べてきたことや疑問に思ったことを交流する際は、対面を避けて座席を配置します。

【家庭】自分の家庭の米飯とみそ汁の調理について調査する

米飯及びみそ汁の調理の仕方について問題を見だし、おいしく食べるための課題を設定する。  
**おいしいごはんとみそ汁の作り方を探ろう**

ICT オンライン会議システムや付属のチャットツール等を活用して行うことができます。

検討と計画  
解決方法の

- 生活に関わる知識及び技能を習得し、解決方法を検討する。
- 解決の見通しをもち、計画を立てる。

### 知識及び技能の習得

米飯やみそ汁の調理や配膳の仕方について理解し、適切に調理する。

### 知識及び技能の活用

「家族と食べるおいしいごはんオリジナルみそ汁」の調理計画を考え、工夫、実践する。

ICT 調理の示範においては、実物投影機で教師の細かな手の動きが拡大したり、動画資料を用いたりすることで、身体距離を確保することが大切です。

米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方

オリジナルみそ汁の材料とその分量、実の組み合わせや切り方

ICT 既習事項や調理のポイントは、タブレット型の学習者用コンピュータ等を用いて動画で確認できるようにすると効果的です。

みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方

調理台や加熱調理器具の効率的な使い方の計画立案

調理用具等は、個々で使用することが望ましいです。どうしても共用で使用せざるを得ない場合は、適切な消毒や手洗いをこまめに行うようにしましょう。

みそ汁の実の切り方や入れ方

試し作り（一人調理）

ICT 実習の様子をタブレット型の学習者用コンピュータで撮影しておき、大型提示装置やオンライン会議システム等を用いて共有し、活動の評価・改善において、計画や献立を見直すことも考えられます。

だしのとり方

実践交流及び相互評価

改善点を交流する際は、対面を避けて座席を配置します。

課題解決に向けた実践活動

- 生活に関わる知識及び技能を活用して、調理・製作等の実習や、調査、交流活動などを行う。

生活の中から問題を見だし、その解決に向けた問題解決の学習過程の中で、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせながら、課題の解決に向けて自分の考えを構想したり、表現したりすることが大切です。

実践活動の評価・改善

- 実践した結果を評価する。
- 結果を発表し、改善策を検討する。

「家族と食べるおいしいごはんオリジナルみそ汁」の調理計画を改善する。

- 実習を振り返り、ペアで改善点を確認する。
- 実際の家庭での一人調理を想定し、調理計画を改善する。

ICT オンライン会議システムや付属のホワイトボード機能を活用して行うことができます。感染症対策に加えて、教師側の評価の見取りにも有効に活用できます。

家庭・地域での実践

- 改善策を家庭・地域で実践する。

【家庭】家庭において、「家族と食べるおいしいごはんオリジナルみそ汁」の調理を実践する。

ICT 家庭での実践の様子を各自が記録し、提示機器やオンライン会議システム等及び付属のホワイトボード機能を用いて共有することで、互いの工夫点を学び合うことが考えられます。

家庭での調理実践を基に評価・改善を行い、さらに生活を工夫し、実践できるようにしていきましょう！



参考 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～(2020.9.3 Ver.4)、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校家庭」、「教育の情報化に関する手引-追補版-」